

六郷中学校改築の基本構想に向けた考え方

1 改築にかかるコンセプトについて

改築にあたっては、教育委員会として学校や地域の特色を活かし、地域とともにある学校づくりを目指している。

六郷中学校は、六郷神社をはじめとする数多くの寺社や、六郷水門など、古くからの歴史が感じられる六郷地区に位置し、その歴史と伝統から、地域と連携した取組や地域行事への参加に力を入れている。町会・行政と連携した防災活動拠点訓練・軽症者救護所訓練の実施や、子どもガーデンパーティー、社会を明るくする運動六郷地域集会への参加など、学校と地域は深い連携関係を築いてきた特色がある。

また、生徒の基礎・基本的な学力の定着を図るため、必要な授業規律・生活習慣の指導や、学校生活や地域等での活動において生徒が活躍する機会の創出に力を入れている。

令和7・8年度は東京都安全教育推進校及び大田区教育委員会安全教育研究推進校に指定されており、生活安全・交通安全・災害安全等について、独自のプログラムのもと、安全教育にも取り組んでいる。

上記を踏まえ、生徒が主体的・協働的な学びに取り組めるよう、オープンスペースなどの教育環境を整備するとともに、災害時の避難所としての機能向上とバリアフリー化を進め、災害安全機能の充実を図り、学校・地域の特色等を活かした改築コンセプトを、基本構想の中で検討する。

なお、別紙「六郷中学校・西六郷小学校の改築計画について」に示したとおり、六郷中学校の改築工事で使用する仮校舎は、工事完了後、近隣の西六郷小学校における無人改築工事用の仮校舎として、連続使用することを予定している。

■ 改築事業予定

時期	内容
令和7年10月～8年3月	プロポーザル実施期間（3月に事業者決定）
令和8年3月～9年3月	基本構想 ・ 体育館長寿命化改修における建築基準法適合状況調査及び劣化状況調査の実施 ・ 改築コンセプト及び施設整備方針の検討 ・ 改築手法に関する方向性の検討 ・ 測量、樹木診断、土地地歴調査 など
令和9年4月～12月	基本計画 ・ 配置案（複数案）の検討、案の比較検討 ・ 配置案（複数案）におけるゾーニング案の比較検討
令和10・11年度	基本設計・実施設計
令和12年度～	工事

※今後実施する計画や設計、各種調査等により予定が変更となる場合がある。

2 改築手法

改築手法の検討に当たり、無人改築の実施可否について検証したところ、六郷中学校の改築については、自校内に仮校舎を設置するための面積を確保できるため、居ながら改築を想定して検討を進める。

また、中学校の校庭に設置する仮校舎を、将来的に西六郷小学校の無人改築用の仮校舎として連続使用することを想定して基本構想・基本計画の中で整理し、同一敷地内で小中学校の運営を両立させる配置・動線を検討する。

3 複合化の可否について

学校施設の複合化について教育委員会としては、「大田区学校施設の整備方針及び学校施設における複合化の考え方」を示している。この中では、「学校施設における複合化については、敷地が学校用地であることを踏まえ、学校施設として必要な敷地を確保した上でなお、その他の施設を建設可能な余剰がある場合に検討する」としている。

本事業においては、校舎改築工事完了後に仮校舎を西六郷小学校における無人改築用の校舎として将来的に連続使用し、小学校と校庭を共用することを想定しているため、校庭面積を十分に確保する必要がある。そのため、学校用途外の施設を整備することは空間的に困難であり、教育環境の維持の必要性から、複合化は行わないこととする。

4 その他の要件

(1) 既存重層体育館の取扱い

既存の重層体育館については、築年数が浅いため長寿命化改修の実施を想定しているが、検査済み証が無いため、建築基準法にかかる法適合状況調査及び劣化状況調査等を実施し、その結果により、新校舎との一体的な学校運営を考慮した最適な整備手法等を検討する。

(2) 既存プールの取扱い

既存のプールについては、区が進める「学校プールのあり方検討」の動向を踏まえ、近隣校とのプールシェアや屋内プール運用等も見据えた整備方針を検討する。

(3) 体育館、武道場、特別教室などの地域開放について

休日など休校時には、管理諸室や普通教室、特別教室と、体育館や武道場を切り離したセキュリティ区画を設け、体育館などで地域開放が実施できるよう将来を見据えた計画とすることを検討する。

(4) 環境配慮に関する基本的事項

脱炭素社会の実現に向けた環境負荷低減の取り組みとして、ZEB ready 以上の基準を目指す。